

「看護の日・看護週間」
制定30周年
ナイチンゲール生誕
200周年記念イベント

Nursing now

看護の力で
未来を創る

分科会 3 災害に強いコミュニティ、安全・安心な社会の構築に向けた看護の貢献

阪神・淡路大震災や東日本大震災等の大規模災害を経験する中で、看護は、災害により生じる健康ニーズ・看護ニーズに配慮だけでなく、災害リスク削減・対応・復旧のあらゆる段階で、災害から人々の生命を守り健康な暮らしを支援する総合的な実践であることを内外に示してきました。

また、COVID-19 の対応においても最前線でさまざまな困難に対峙しています。世界的にも災害への対応が注目を集める中、これまでの災害看護の取り組みを振り返り、災害に強いコミュニティ、安全・安心な社会の構築に向けた看護の貢献、看護の社会的な価値を議論したいと思います。

2021年
1月21日(木)
14:15~16:15
オンライン開催

▼ Program ▼

講演 1

災害に強いコミュニティ、安全・安心な社会の構築に向けて何が必要か
室崎 益輝氏 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 研究科長

講演 2

COVID-19 対応からの教訓：イタリアからの報告
Walter De Caro氏 イタリア看護師協会 会長

パネル ディスカッション

災害に強い社会に向けて看護職ができること

座長

増野 園恵氏 兵庫県立大学地域ケア開発研究所 所長

パネリスト

井伊 久美子氏 日本看護協会 副会長

—「災害支援ナース」等、職能団体としての取り組みと貢献

パネリスト

池田 載子氏 大阪赤十字病院国際医療救援部国際救援課 課長

—国内外の災害救護における看護の貢献

パネリスト

五十嵐ゆかり氏 聖路加国際大学ウィメンズヘルス・助産学 教授

—東日本大震災での女性と母子への支援活動から

パネリスト

濱館 陽子氏 独立行政法人 国際協力機構 JICA

—自主防災組織と看護の連携～首都直下型地震に備えて～

パネリスト

小原 真理子氏 清泉女学院大学 国際・災害看護学 教授

—まちの減災ナースの養成：地域と共に減災に取り組む看護師

● 参加申込は こちらから ●

Nursing Now
キャンペーン特設Webサイト

[https://www.nurse.or.jp/
nursing/practice/nursing_now/
nncj/event](https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/nncj/event)



◆ 企画

災害健康危機管理WHO協力センター
(兵庫県立大学地域ケア開発研究所)

◆ 企画・実施協力

日本赤十字社医療事業推進本部看護部
WHOプライマリーヘルスケア看護開発協力センター(聖路加国際大学)
日本助産師会
国立国際医療研究センター